

ソーシャルメディアとインターネット放送の融合によるオンラインイベントの実現 Enabling an online event with interaction between social media and an internet broadcasting

伊藤 昌毅^{1*}

Masaki Ito^{1*}

¹ 鳥取大学 大学院工学研究科

¹ Graduate School of Engineering, Tottori University

はじめに

ソーシャルメディアが国や組織、年齢を超えた人と人とのつながりを促し、そこで生まれた交流がビジネスや学術の発展を加速していることは、ソーシャルメディアに日頃接している人ならば誰もが実感していることであろう。筆者の周辺にも、ソーシャルメディア上に「地理情報システム (GIS) 技術を中心とする技術情報交換コミュニティ」が成立し、技術的な議論や情報共有が絶えず行われている。Facebook や Twitter などは、一般に各自がそれぞれのタイミングで情報を発信する非同期メディアである。しかし、人同士のつながりを促し、コミュニティを成り立たせるために、オフラインで一堂に会するイベントの開催が大きな役割を果たすことも、また重要なことである。

オンライン同期メディアの発展

ソーシャルメディアでつながった人同士の交流の場として、オフラインだけでなくオンラインを活用することが一般的になっている。ある場所で開催されているイベントを中継することで広く参加者を募る手法は、Ustream によって一般的となった。特定の人だけの会合であれば、skype による会議通話が広く利用されている。両者の性質を融合したようなオンラインイベント開催は難しかったが、2012年5月に、多拠点ビデオ会議サービス Google+ハングアウトにオンエア機能が追加され、複数人による会話の様子を YouTube を通じて「放送」出来るようになった。これにより、多拠点をオンラインで接続しながらイベントを開催し、それを不特定多数が閲覧するというイベントの開催が容易になった。

iOS6 マップを語る夕べ

開催経緯

2012年9月21日に発売された Apple のスマートフォン iPhone 5 に対しては、新機能として登場した Apple 製の地図アプリケーションの品質の低さが話題になった。多くの blog やオンラインニュースで取り上げられたほか、ソーシャルメディア上でも活発な意見交換が行われた。こうした盛り上がり背景に、児玉哲彦氏 (フリービット株式会社) によって翌22日に討論会の開催が提案され、筆者とのやりとりを通してゲストスピーカーとオンラインイベントとしての開催を決めた。最終的に、9月27日夜に、遠藤宏之氏 (GIS NEXT)、笹田忠靖氏 (GEOHEX) をゲストとするイベント開催が決定した。

呼び掛け

イベント告知は Facebook のイベントページを作り、そこに招待するという形で進めた。最終的に238名に呼び掛けられ、98名が参加予定を表明する規模のイベントとなった。このほかに、Twitter を通じた呼び掛けも行った。話題に対する関心の高さだけでなく、参加予定者の交友範囲がそれぞれ異なることなどもあり、地図技術の専門家や学術関係者、位置情報や Web 技術関係者など広範囲の専門家の参加が実現した。

当日の開催

当日は、4名の参加者それぞれが Web カメラを備えた PC を用意し、Google ハングアウトを通して多拠点ビデオ会議を行い、それを YouTube を通じて放送した。放送は、児玉氏の司会でそれぞれが意見を表明し、その後議論するという形をとり、午後10時より80分近くに及んだ。放送画面には4名の話者の顔もしくは発表資料が表示され、そのうちのひとつが司会者によって選択され拡大表示された。放送中は Twitter などを通して視聴者同士での活発な意見交換が同時に進められ、Twitter ハッシュタグはトレンドに掲載されるほどの投稿数があった。

放送の反響

イベントの成功は、iOS の地図問題に対する関心の高さとともに、ソーシャルメディアと連動したオンラインイベントの新しい可能性を示すものとなった。短期間でのイベント開催の決定から告知の実現、ソーシャルメディアならではの動員力といったソーシャルメディアが可能にしたイベント形態だけでなく、特定の時間に特定の話題への言及が増える

MTT39-01

会場:102A

時間:5月21日 14:30-14:45

ことで、ソーシャルメディア上の議論が加速するという効果も見られた。「ながら見」が容易なためか、オフラインイベント以上に、視聴者同士のリアルタイムでの意見交換や議論が活発に行われた。このように視聴者と話者、視聴者同士が活発に議論することで、イベント参加者に一体感が生まれることになった。

おわりに

「iOS6 マップを語るタベ」は、オンラインで非同期のソーシャルメディア、人を繋げるが開催への敷居が高いオフラインイベントどちらでもない、新しいイベントの可能性を示した。今回は、誰もが意見を表明したくなる対象があったために成り立ったイベントであったが、今後、価値を生み出す場としてソーシャルメディアを活用する際に、今回イベント形式が応用できるか、検討を進めたい。

キーワード: ソーシャルメディア, ジオメディア, Apple 地図, オンラインイベント
Keywords: social media, geomedia, apple map, online event

